



# 京都きょうだい会だより

第168号 2015.11.14

発行 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会  
上本善有（代表）

事務局 京都市伏見区石田大山町5-2-67 梅田嘉一方 TEL&FAX 075-571-1973

## でてこいランド 一泊交流会

9月12日～13日

「20年前と今」をテーマに、きょうだいとしての体験や思いを語り合いました。

京都きょうだい会では毎年、全国のきょうだいや関心のある方に呼びかけを行い、1泊2日の交流会を開いています。「でてこいランド」とは、JR京都駅から山陰線で1時間あまりの下山駅の近くにある宿泊施設の名前です。

今年も、群馬・東京・神奈川・静岡・愛知・富山・京都・奈良・兵庫・岡山の各地から21人の方々に参加して頂きました。初めての方が3人。障害のあるきょうだいと同伴の方も2組おられました。セルフの施設なので、いろいろな準備や後片付けも必要ですが、皆様の自主的な協力により、有意義な時間が過ごせたと思います。

初日は夕方から・・・各自持参の夕食を食べながらアルコールも入り、なごやかなうちに地域ごとの自己紹介から始まります。その後は思い思いの人との交流になり、日頃周りの人には話せないきょうだいの思いを、時間を気にすることなく、語り合いました。それぞれのペースで床につきましたが、耳を澄ますと虫の声が聞こえて来て、秋の到来を実感させられました。

小雨交じりで明けた翌朝。7時からみんなで手分けして、シーツの洗濯や風呂掃除、ゴミの片付けや朝食を済ませた後、9時半から12時まで、小グループに分かれてのディスカッションをしました。進行役は、若手きょうだいのNさんとMさんが担当してくれました。

一グループ5人前後で車座になり、「20年前に考えていたこと・感じていたことと、今考えていること・感じていること」というテーマでそれぞれの経験をふり返ってもらいました。20年前におかれていた状況や考え方をふり返り、今はどう変わったのか。障

がいのあるきょうだいとの関係はどのような変化があったのかを軸にして、途中でグループの入れ替えも行いながら、多くのきょうだいのお話を聴くことが出来ました。

20年と言えば一人の人生の中で相当の変化が見られる長さです。その方の生活の歴史に触れ、単純な自己紹介では見えて来なかったことが伝わって来ました。そして、障がいのあるきょうだいのことが深く関係していることも改めてよく分かりました。以下、私の耳に残った内容をスケッチしてみますと・・・

- ・大人になり実家から離れて初めて、家族のことや障がいのあるきょうだいのことが見えてくるようになった・・・。
- ・40代の真ん中は子育てに追われていたが、20年経っていろいろなことが落ち着き、ようやく人生を振り返る余裕が出来て来た・・・。
- ・親が自分の子の障がいを認めることに抵抗があり、障がいのあるきょうだいの自立の見通しがなかなか見えなかったが、きょうだいの自分が支援の仕事に就き、就職につなげることが出来た・・・。
- ・実家から離れて住むようになったが、家庭内暴力のある兄の介護をしている高齢の母のことが今気になっている・・・。
- ・障がいのある姉を最近亡くしたが、高齢になった知的障がいのある人のケアの場がまだまだ未整備なことに気がつかされた・・・。

などなど。

生きている以上、誰でも日々何かしらの課題と向き合わねばならないことは避けられませんが、そこに障がいのあるきょうだいのことが重なると、余裕が無くなりがちです。だからこそ、適度な距離を置くことの大切さを意識する必要を感じました。そしてまたこのように「胸の内を吐き出したり、別のきょうだいの話に耳を傾けたりが出来るときょうだい会というものの意義を改めて実感しました。

事務局(梅田方)に電話とFAXがあります。連絡や通信に利用して下さい。  
たよりの原稿は 宇治市羽戸山3丁目1-76 (TEL&FAXとも0774-31-4337) 糸井まで。  
京都きょうだい会にホームページがあります。“京都きょうだい会”から検索できます。

最後に、皆さんから頂いた感想の一部を紹介しておきます。

- 年上の方々に囲まれて緊張してしまい、なかなか慣れませんでした。いろいろなお話を伺うことが出来てよかったです。まだまだ話し足りないのので、今後も近場の活動に参加出来たらと思っています。
- お互いに自分の家族の話ができる機会は、ふだんめったにないため、自分に向き合う機会になったと思います。来年もしれる機会が出来たとしたら、その時はどんな自分に成長出来ているだろうかと思いました。
- はじめて参加させていただきました。皆さん、気楽に話をさせていただいてとても温かみのある会だと思いました。各地から集まれる場所があるのはとても良いですね。
- 夜に〇〇さんほか数名が酔っぱらうなど、いつもと違った顔が見れてよかったです。今年は愛知からは二人と少しさみしい人数でしたが、来年はもっとたくさんの方で参加出来たらと思います。
- 多くの方々のお話を聞いて、それぞれの悩みや喜びを理解することが出来ました。また自分の持っている悩みや喜びを聞いてもらえてほっこりとした感じがありました。20年前と今をふり返る企画は、立ち止まって考える良い機会となりました。
- 20年前、両親亡き後、障がいのある弟の保護者を引き受けて、全力投球でいっぱいだったあの頃を、久しぶりに振り返ったひと時でした。こんな話ができるのもきょうだい会ならではですね。「10年前」などがあってもよかったように思いました。
- ディスカッションのテーマは斬新だった。過去をふり返る良い機会になった。
- 20年前の自分と今の自分というテーマの切り口でそれぞれに語り合うグループミーティングが

よかったです。今まで知らなかった違った面をお互いに知り合うことで、人間の奥深さを感じました。

参加された皆さんから一様に、貴重な交流の場であったこと、もっと語り合いたかった、来年は地元のきょうだいを誘って参加したい、・・・という感想を頂き、嬉しい限りです。あっと言う間に過ぎてしまった2日間でしたが、中身の濃い交流が出来たことに感謝申し上げます。来年もまた、素晴らしい交流の場が持てたらと思っています。



### 〈これからの予定〉

- **例会** 1月例会は新年会！恒例のふく三昧です。京阪電車伏見稲荷駅近くの居酒屋にて。1月 9日(土)6時半から9時半。会費4、500円程度。詳しくは事務局まで。
  - **しろくま会** 20~30代対象のきょうだいの集りで、市内のカフェで不定期に開催しています。ホームページを参照して下さい。
  - 近畿圏には他地域にもきょうだい会が開かれています。
  - 大阪きょうだい会** 奇数月の第四日曜(次回11/22)
  - 神戸きょうだい会** 偶数月の第二土曜
  - 姫路障がい者家族会** 不定期
- 詳細は京都きょうだい会ホームページを参照されるか、事務局までお問い合わせください。

会費は正会員・購読会員とも年間3,000円です。カンパはいくらでもありがたいです。会を支えて下さい。 京都銀行鞍馬口支店 口座番号 3797399 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会まで。